

高齢社会における高齢者の学習・ 社会参加活動の重要性

2012年10月2日
NPO法人ナルク
会長 高畑 敬一

「高齢社会における高齢者の学習・社会参加活動の重要性」

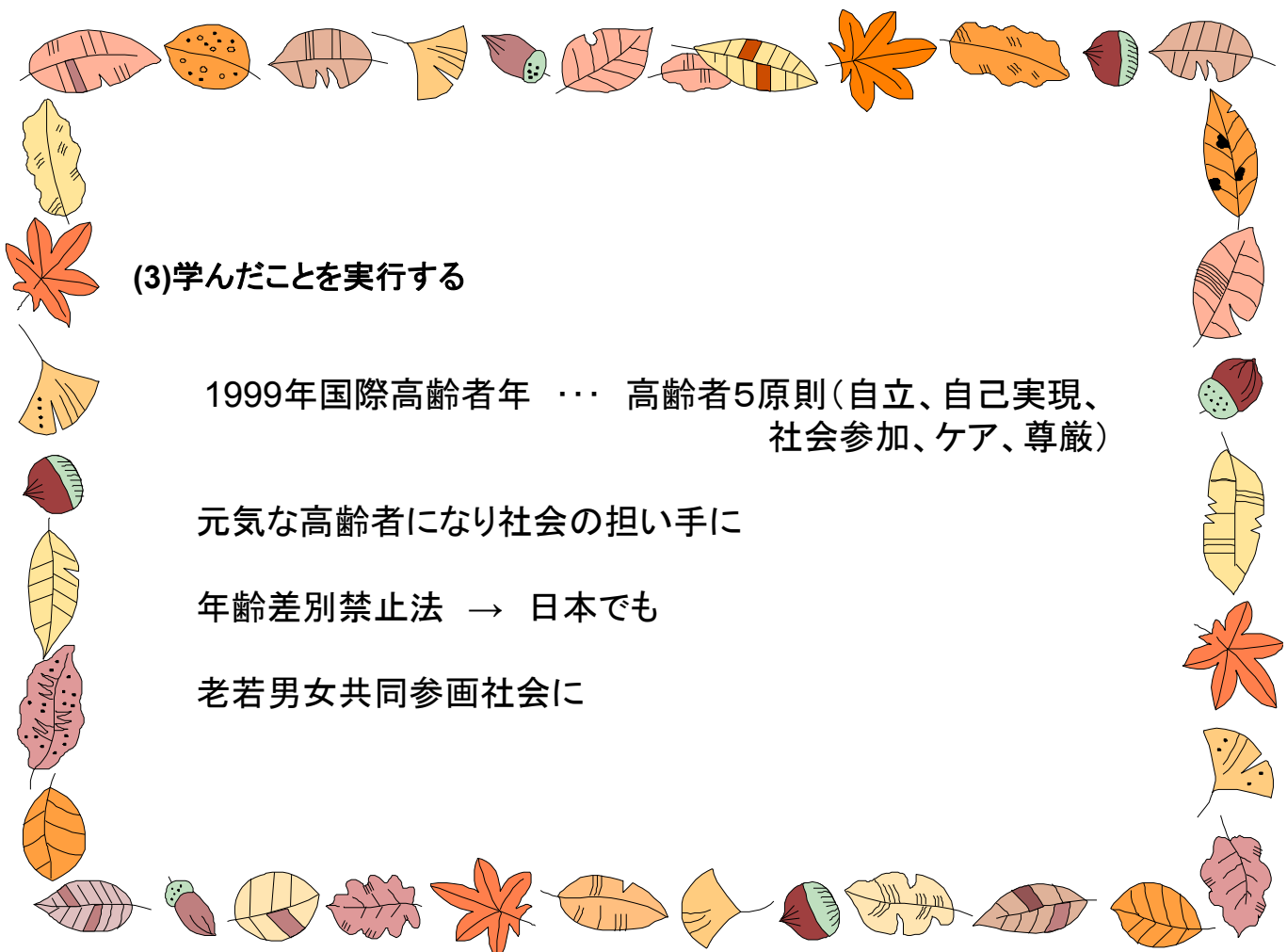
(1)生涯学習の言葉は新しい

- ・1965年ユネスコが生涯学習を奨励
- ・欧米では職業教育
日本では人間形成・余暇対策に重点が置かれた内容
- ・欧米では成人対象の学習
日本は1985年文部省が高齢者教育をスタート、やがて生きがいづくりのための老人大学開設へと発展。都道府県へ補助金を出して奨励
- ・1990年代は生涯学習花盛り。
濡れ落ち葉と粗大ゴミの男性を吸収
- ・バブル崩壊後、自治体の単独事業で大幅に減少。市町村によって温度差が目立つ
- ・大学公開講座、カルチャーセンター、地域でのサークル活動が盛んになる



(2)大変革の時代到来。新しい価値観の確立が問われる

- ・グローバル化(国際化ではなく)
- ・IT化(スマートフォンの出現)
- ・少子高齢化(親族・家族・地域の絆が崩壊、NPOに代わる)
- ・価値観確立と人生百年時代の生き方を学ぶ → 新しい生涯学習
- ・価値観確立のため過去に学ぶ日本人の心(武士道精神)に戻って



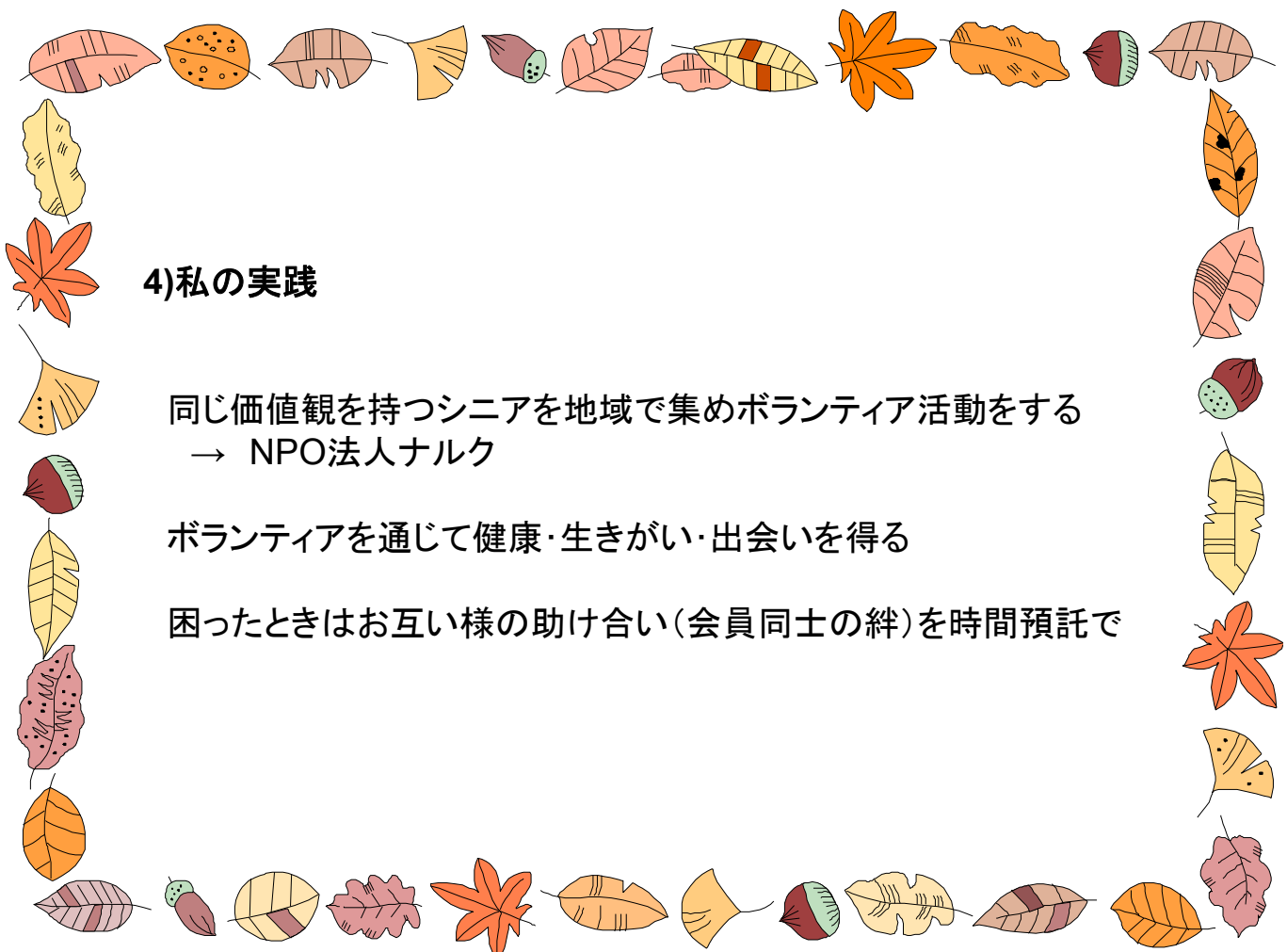
(3)学んだことを実行する

1999年国際高齢者年 … 高齢者5原則(自立、自己実現、社会参加、ケア、尊厳)

元気な高齢者になり社会の担い手に

年齢差別禁止法 → 日本でも

老若男女共同参画社会に



4)私の実践

同じ価値観を持つシニアを地域で集めボランティア活動をする
→ NPO法人ナルク

ボランティアを通じて健康・生きがい・出会いを得る

困ったときはお互い様の助け合い(会員同士の絆)を時間預託で

終局の人生がその人の真価を決める

— 現役時代不遇でも花が咲く —

但し 現役時代の3~5倍の緊張感を持って
(森 信三)

好きな言葉

**人間生きている内に 人のために
良いことをしておくべき なんだなあ**

(相田 みつを)

理念

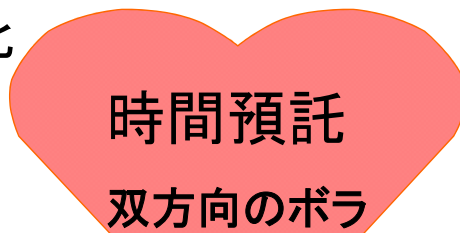


理念は「自立」「奉仕」「助け合い」で「生きがい」を

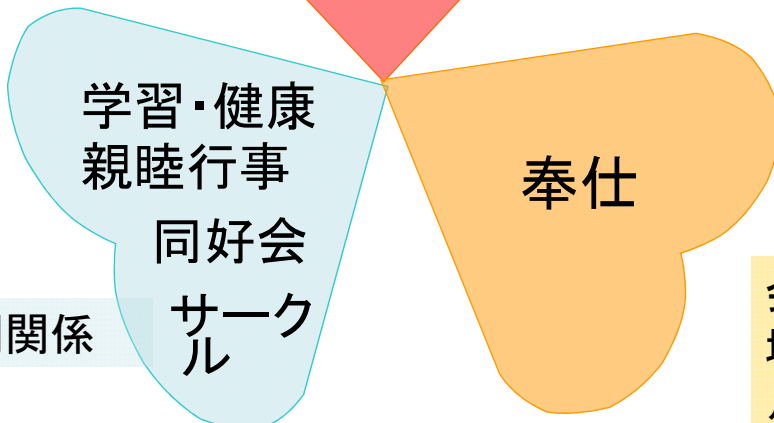
ボランティア三本柱

- ①高年齢者・障害者介護(助)
- ②子育て支援
- ③環境美化

ナルクの三大活動



会員同志の
助け合い



楽しい人間関係

会員外や地
域社会への
片方向ボラ

1999年6月 NPO法人認証 経済企画庁

全国ネットの時間預託が特徴

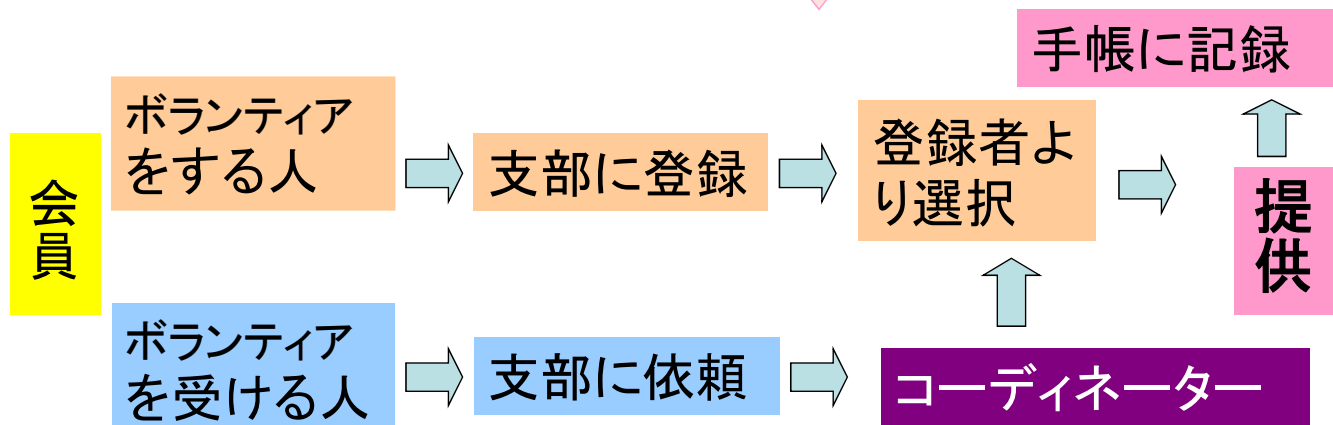
事務所とコーディネーターを持つ恒常型ボランティア

時間預託制度とは



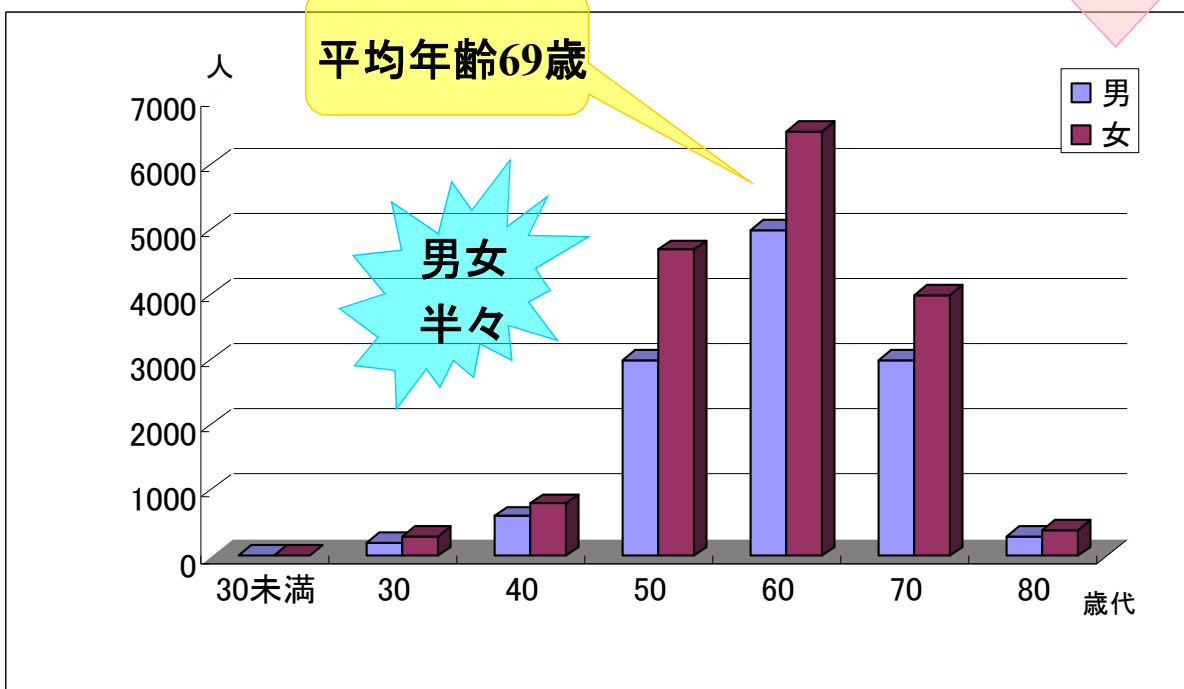
提供・利用とも1時間1点

時間預託のしくみ



ナルクの会員構成

夫婦が70%



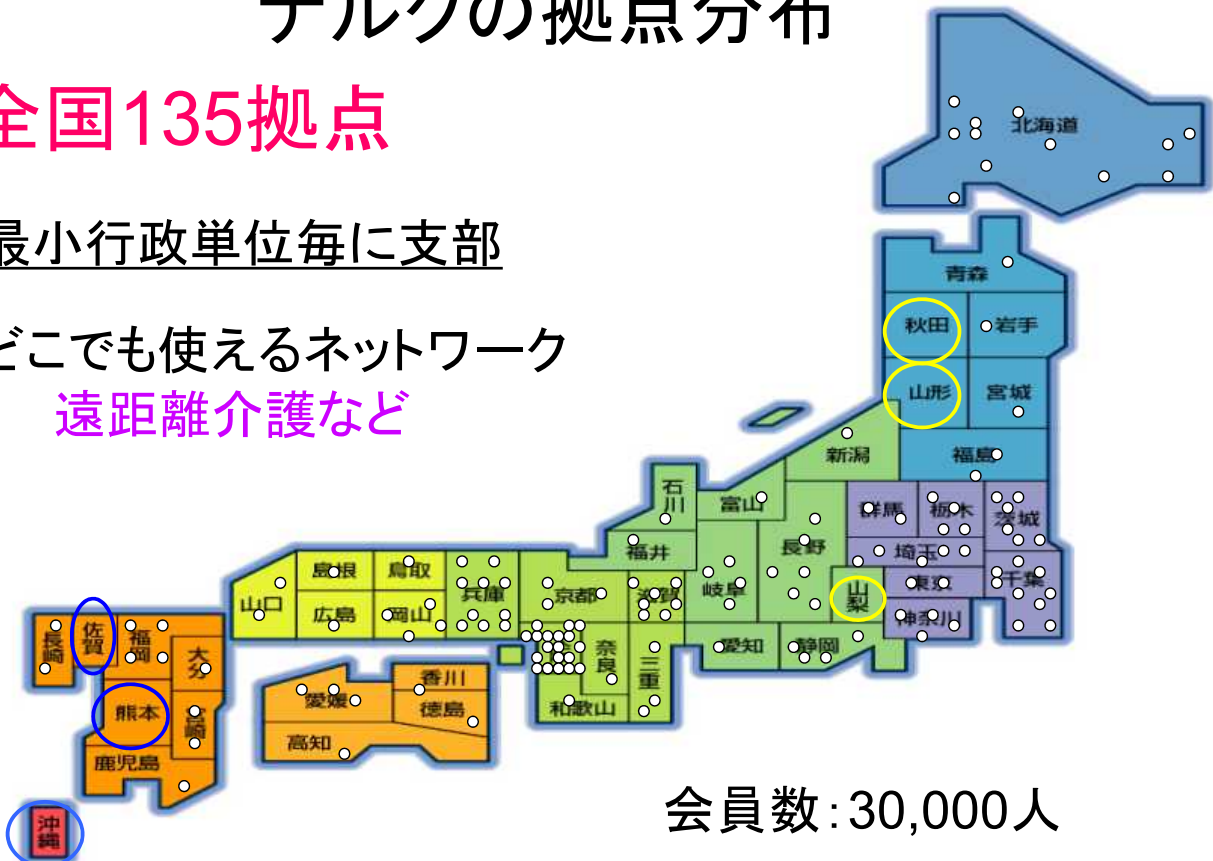
ナルクの拠点分布

全国135拠点

最小行政単位毎に支部

どこでも使えるネットワーク

遠距離介護など



ナルクの時間預託活動



通院介助



日曜大工



見守り・話し相手

植木の手入れ

